



新刻百姓往來



百姓往來

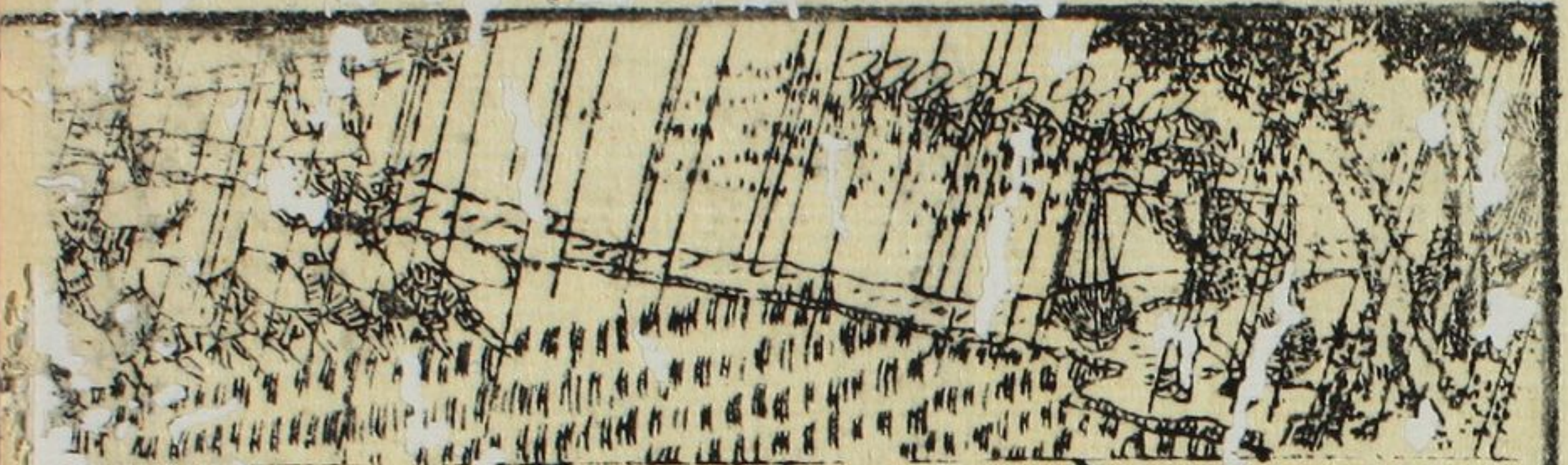


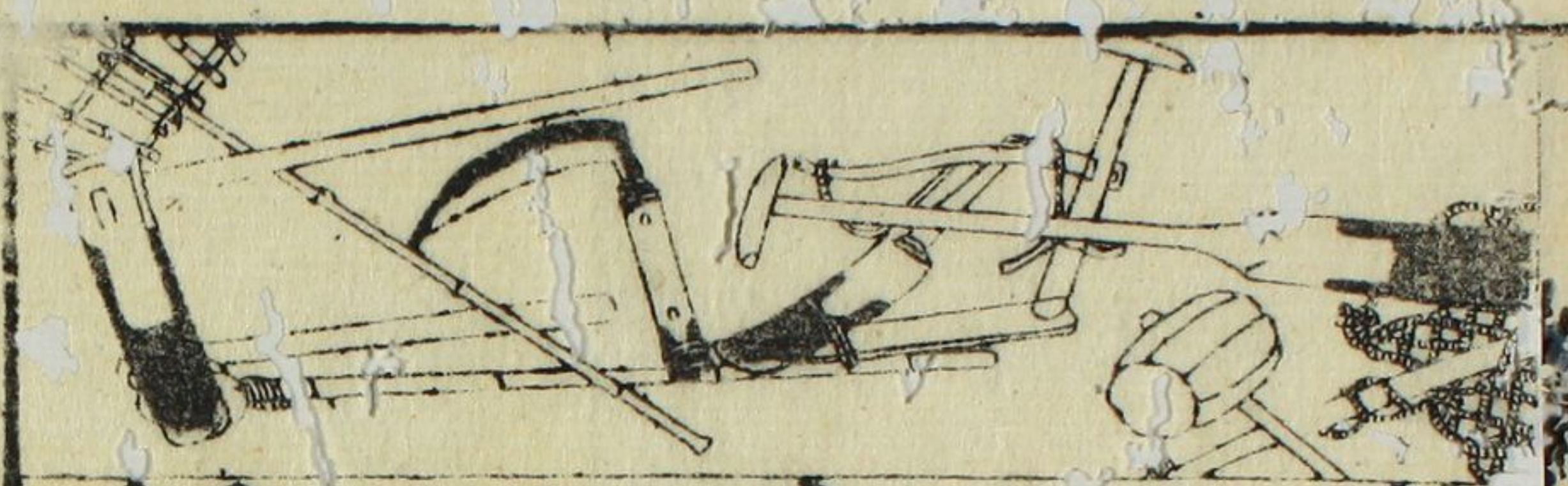
凡百姓兩板文字農業

耕作道其鋤耕錄

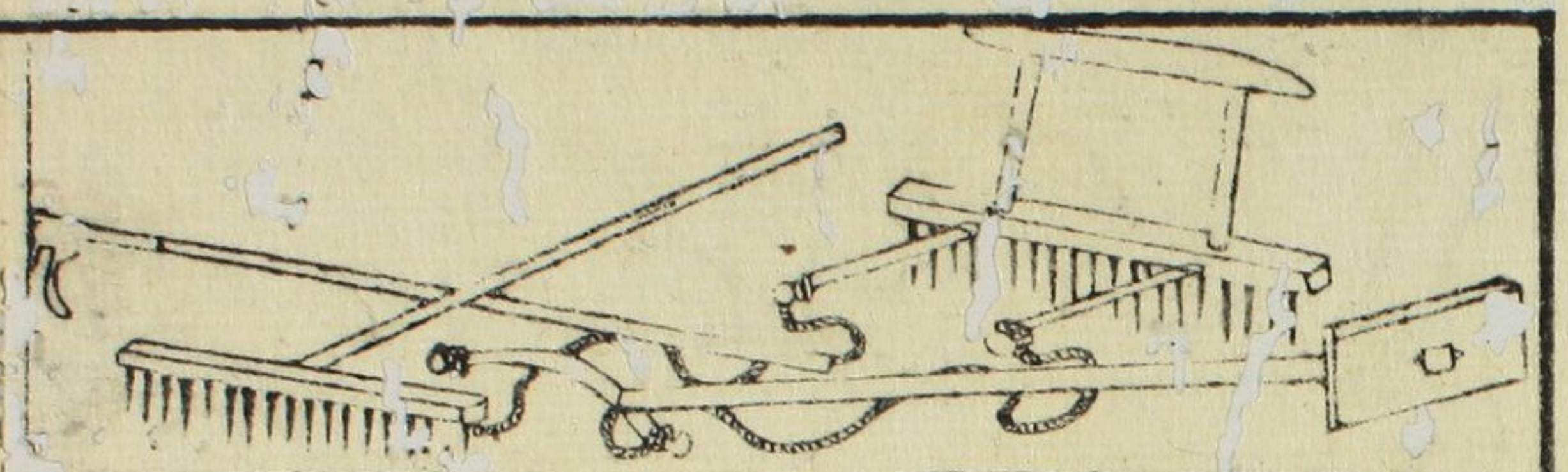
馬把酒後个把換把院園

後拍天新拍着持純





駁板 鐵鑿 木柄 九蒲 葱
 批 榫 用 以 運 來 福 板
 確 權 杆 春 肘 木 款 麼
 筭 沉 障 級 案 板 案 筒
 案 干 不 授 師 值 送 括



榫 本 柄 以 車 龍 車 案 背
 車 案 案 案 案 案 案 案 案
 榫 板 榫 案 自 由 烟 筒 通
 枋 圓 財 案 也 叔 又 新 回
 圓 案 比 案 均 案 案 案 案



地積 ちせき 谷 や 山 やま 鏡 かがみ 石 いし
 石 いし 木 き 木 き 木 き 木 き 木 き 木 き 木 き 木 き 木 き
 上 かみ 中 ちゆう 下 げ 所 ところ 所 ところ 所 ところ 所 ところ 所 ところ 所 ところ 所 ところ 所 ところ
 熟 じゆく 田 でん 木 き 深 ふか 日 ひ 向 むかひ 房 ぼう 校 がく 長 ちやう
 程 ほど 甲 か 乙 い 多 た 少 せう 亦 また 字 じ 半 はん 光 ひかり 考 かう

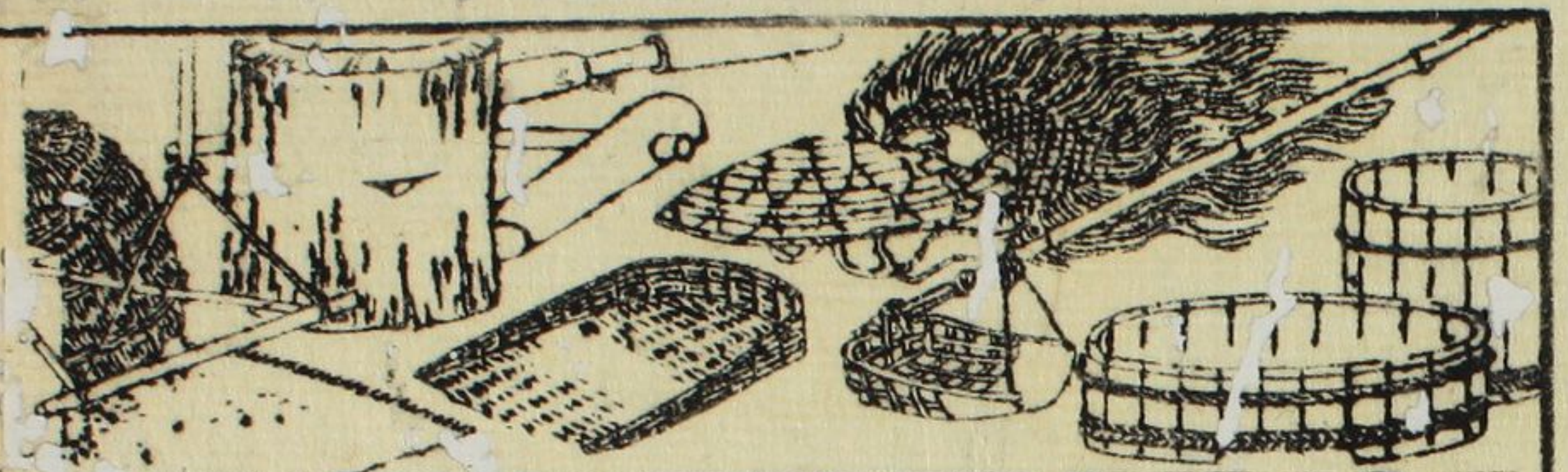
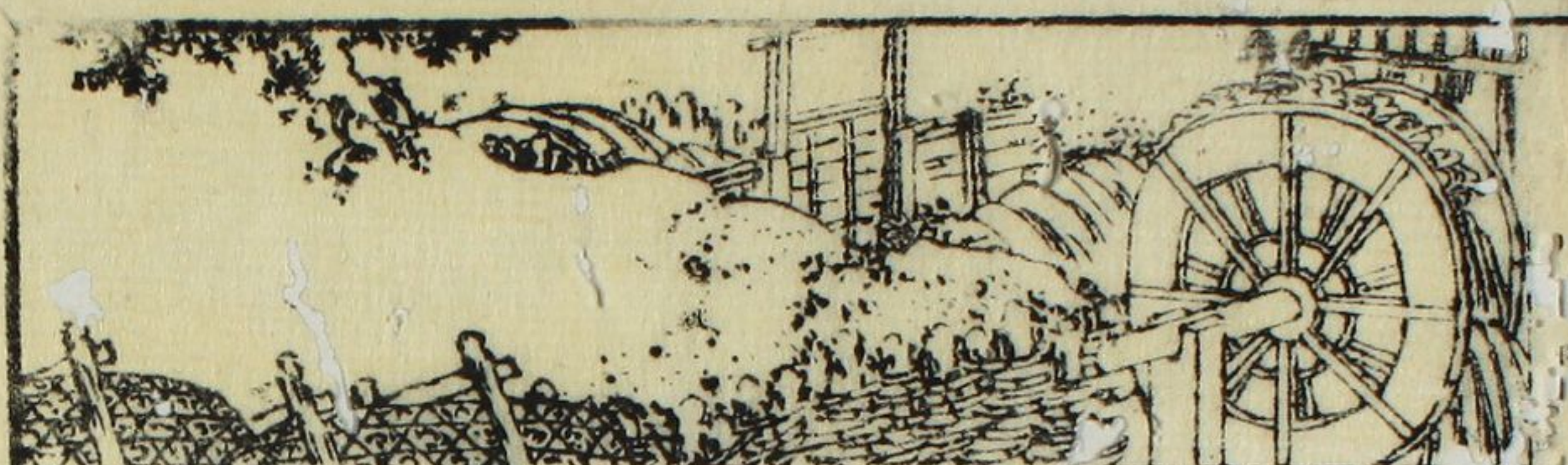


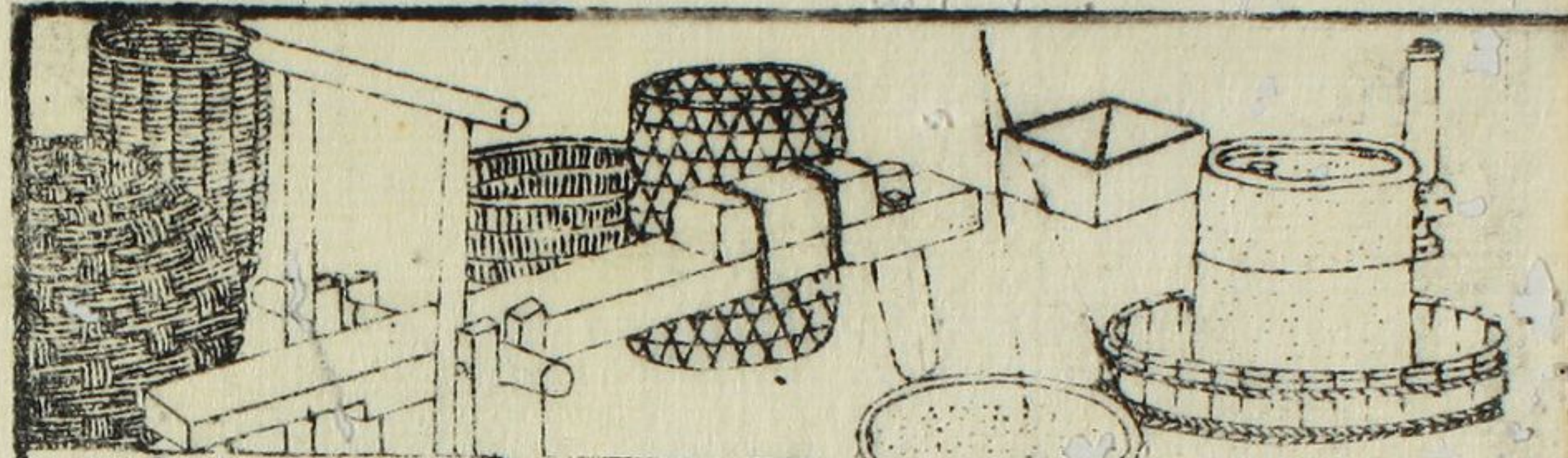
表 あへ 地 ち 集 あつ 業 ぎふ 木 き 植 うゑ 牛 うし 積 せき
 子 こ 角 かく 老 らう 油 あぶら 淨 じゆう 井 い 口 くち 物 もの
 堤 つゑ 岸 がし 木 き 舟 ふね 人 ひと 植 うゑ 木 き 机 つくえ
 多 おほく 子 こ 傳 でん 粗 こ 細 こ 糲 せう 肉 にく 括 くわく 詞 し 口 くち
 柵 さく 之 これ 逐 おそ 一 ひと 日 ひ 檢 けん 度 ど 世 よ 天 てん



年々相方也今不割
 者重肥者不箇馬者重
 涉草平獨出獨究著
 子振粘糠油後粘著灰
 等在草中不者粘著灰出



摘田相其南代唱本葉山
 子振後水浸水粘端
 浸梅邊浸身懸雨七葉
 浸滑中好重粘著茶
 粘粘身五重粘著茶



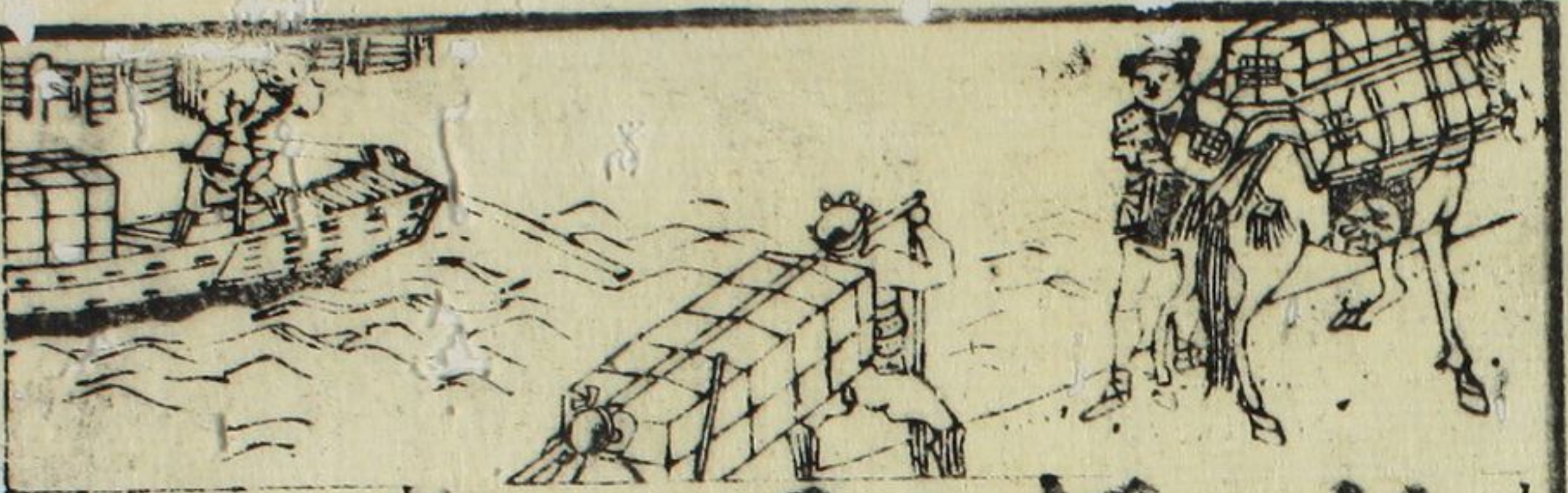
竹の田場を丸く掃き
 附き取遠くまで直着
 本末未至を御宗宗
 松葉吹味を食はる
 主合親依念御藏



細津場を御宗宗
 松葉吹味を食はる
 主合親依念御藏
 竹の田場を丸く掃き
 附き取遠くまで直着
 本末未至を御宗宗
 松葉吹味を食はる
 主合親依念御藏



のしほりしとらふり
 利首目言交担と揚
のまをこしふ
 経物國傳はる物家傳
こし
 海防揚船川沿揚運
たひしうの
 石臼拂除池村金境
か
 我殺ち担不相也者



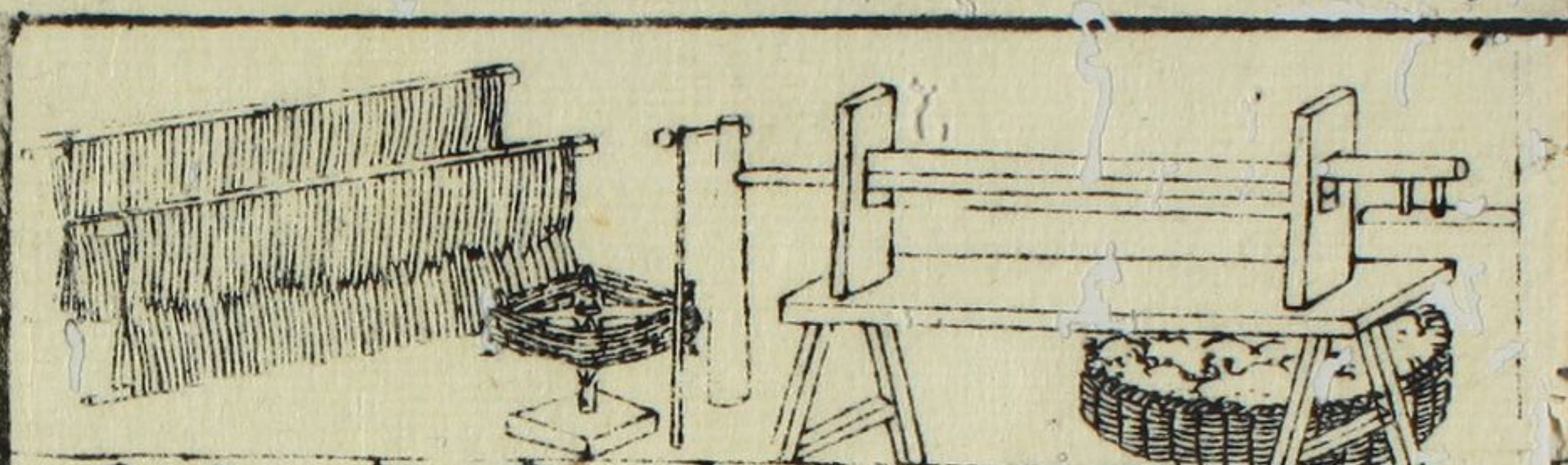
の
 物音目馬二匹重女
く
 貫輕身平法の控六
く
 吾負おちる自控を次
の
 重物一棧入山駕籠を提
し
 甲冑入物入令吾負自系



青竹葉之金寶夏秋
りつてつぎのせこしこたわいりやうりふちいり
 下後天華中法年々堂
こしきま
 沖儀様沖儀松願寺
こしきま
 代官と表身願此公限
たまりのうんやまひ
 室送作丸太公塩主
このうん



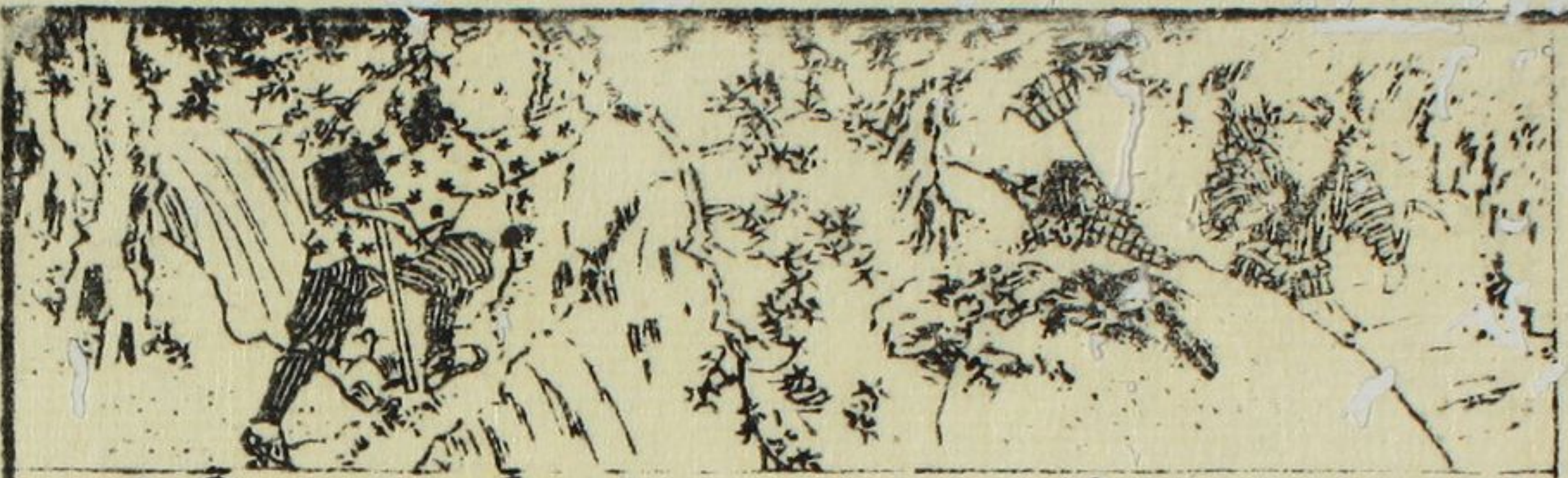
石倉儀儀本質全様
いしかう
 根葉葉葉葉葉葉葉
ね
 富田之各子運葉葉葉
むらた
 障子老古也田用葉葉
せうし
 虎窓酒葉葉葉葉葉葉
とらま



其の節は海衣紙等
 者兼後念糸御道具者
 摺車唐弓同深糸車仿
 活集糸前拵拵拵
 押管弓拵拵拵也



常之糧者同徳衣
 才麦挽割批才拵割
 陳奈才止糸拵拵拵
 拵拵随糸大切衣糧
 仕込首飢饉之節不



湯水之人得第一也
 菓子老及魚物本
 以將人容人
 能或為表切也
 魚菜園之野菜



之酒
 陳之本
 履身
 研壳者
 拍之



林場之林身之丹取
 牛馬飼料糧食自授
 牛馬之馬食牛者銀
 二歲終之米和四歲
 物不米糧古養馬者



馬一家的二家能三
 米能四米等名不
 古原古戰場内海老
 海入江淡臨溪去之用
 古法之例也切在古法



我辨如櫻不切山坊
 之所本不孫人之位不
 致遠回正首身才一之
 輩者復以子孫承承成
 高貴於世用之家佛



神叶其摩生有
 能仍如叶

内山松陰書

東京通油町

藤岡屋慶治郎

羽前山形

大和屋物右衛門



